

<b>留 学 報 告 書</b>
------------------

記入日:2017年12月26日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部/国際日本学科
留学先国	韓国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: 梨花女子大学 現地言語: 이화여자대학교
留学期間	2017年3月～2017年12月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	0年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2017年12月22日
明治大学卒業予定年	2019年3月
<b>留 学 先 大 学 に つ い て</b>	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:3/1～6/16 2学期:9/1～12/22 3学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	約18,000人
創立年	1886年

留学費用項目	現地通貨 (₩)	円	備考
授業料	0₩	0円	交換留学のため授業料免除
宿舍費	2,335,110₩	233,511円	
食費	2,082,474₩	208,247円	
図書費	142,866₩	14,286円	
学用品費	35,180₩	3,518円	
教養娯楽費	122,000₩	12,200円	キムチ作り体験、テコンドー体験や美術館など
被服費	165,400₩	16,540円	
医療費	206,600₩	20,660円	大学保健所の利用料金と、病院での診察と薬代(指の打撲と食中毒)など
保険費	1,108,000₩	110,800円	形態:明治大学指定+梨花女子大学推薦
渡航旅費	613,292₩	61,329円	羽田空港と仁川空港の2往復
雑費	574,086₩	57,408円	化粧品、雑貨、遊園地など
その他	592,780₩	59,278円	釜山と済州島での旅行費用
その他	182,500₩	18,250円	交通費
その他	278,337₩	27,833円	留学、生活に必要な手続き費用 (スマホ、外国人登録証、英文診断書、国際郵便など)
合計	8,438,625₩	843,862円	明治大学からの10万円の助成金を含まない

## 渡航関連

渡航経路:羽田空港~仁川国際空港×2

渡航費用

チケットの種類	片道チケット
往路	166,902+149,690₩
復路	139,400+ 157,300₩
合計	613,292₩

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

Skyscanner、トラベルコ、Peach

## 滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

大学キャンパス内の寮

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数 2)

3)住居を探した方法:

大学の個人ページで寮を希望する場合はチェックをつけるだけ

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

私は、春学期は台湾人と、秋学期前半はシンガポール人、秋学期後半は日本人と相部屋でした。配置確定後でも、リクエストがあればメールで聞いてくれると思います。

## 現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった  
利用した:キャンパス内の病院(計前期5回+後期2回)と、学外の総合病院 2回

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

留学生の友達、現地の友達・キャンパス内病院の先生・寮のスタッフ・寮の警備員

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

韓国領事館からのメール

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

校内・寮内は時々繋がりにくいことがあるが、基本的には問題なし。ほとんどのカフェには wifi があるが、自分のスマートフォン(UQmobile)はどこでもつながりにくかった。

5)現地での資金調達はどうに行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現金をそのまま機内に持ち込んだ。レートの良い明洞の両替所で両替し、新韓銀行に預金した。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

ルームメイトや友達にあげる日本のお土産

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

## 卒業後の進路について

1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
私は、7,8月の夏休みの間に日本に一時帰国したことで、就活に関係なく、今後自分がどうしていきたいか明確に目標を立てたり、一旦学業を置き自分について考える時間を設けたことで、さらに留学に対する意識を高めることができました。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
30 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 申請中単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
한국어 I	韓国語 1
科目設置学部・研究科	Korean Studies in International Studies
履修期間	1 学期間
単位数	6
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	実践(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 150 分が 4 回
担当教授	안은정/노태희
授業内容	韓国語開講。クラス規模 12 人。 留学生用の韓国語言語初級コース 月曜～木曜の朝 8 時から 11 時ごろまで、毎日 2 コマずつ。 韓国語無知レベルから、独りで買い物に行けるレベルになる。
試験・課題など	課題は無し。 毎週ワークブックやライティングの宿題。 試験は二日間にまたがって Speaking/Listening/Writing/Reading の 4 技能試験。

感想を自由記入	朝起きるのが非常に辛いです。 英語で教えてもらえるのかと思ったら、初日から韓国語オンリーで何言ってるのか最初は全くわかりませんでした。だんだん語彙や文法が増えて来てわかるようになりました。毎日小さな発表時間があり、speaking はかなり伸びると思います。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):	
Current Issues	時事問題	
科目設置学部・研究科	HOKMA College of General Education	
履修期間	1 学期間	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回	
担当教授	Joomi Kim	
授業内容	英語開講。クラス規模 33 人。 韓国やその他の国々の社会問題とメディアによるそれらの表象され方について。 基本的には教授の講義メインだが、動画やドキュメントもよく見る。 英語の堪能さより理解度が重要。	
試験・課題など	中間試験有り。期末試験無し。 Presentation(グループ)1 回、Essay 3 回、Debate 1 回、その他宿題プリント	
感想を自由記入	バイリンガルしかいないクラスで、唯一理解に時間がかかっている自分に対して、常に気を配り、温かくアドバイスや指導してくれる優しくて素敵な教授。 よく授業中にお菓子を配ってくれる。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):	
World Women Through English	英語で考えるフェミニズム	
科目設置学部・研究科	HOKMA College of General Education	
履修期間	1 学期間	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	ディスカッション(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回	
担当教授	Min Hye Sook	
授業内容	英語開講。クラス規模 28 人。英語の堪能さよりクラス全体でのディスカッションへの参加度が重要。 世界中の文化などをフェミニズムの点から考える。 予習として映画を見たり、ペーパーを読んできて授業中に生徒同士でディスカッション。 3コマに一度くらい教授が少し統括してくれるが、基本的に生徒のディスカッションのための授業。	
試験・課題など	中間・期末試験無し。 Essay(個人とグループ)が 6 つ、Presentation(グループ)が 2 回、In-class essay が 1 回。	
感想を自由記入	英語の堪能さは問われないとは言っても、韓国人の生徒も留学生ももちろん堪能なので、そんな環境でのフェミニズムという新しい分野に関してのディスカッションは非常に厳しかったです。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
한일문화비교	日韓比較文化
科目設置学部・研究科	日本語文化
履修期間	1 学期間
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	송영빈
授業内容	日本語開講。クラス規模は 25 人。 日韓比較文化のはずだったが、ほとんど日韓の言語比較に終わった。
試験・課題など	中間・期末試験有り。 期末課題は、A4・5 枚のレポート。
感想を自由記入	毎回教授がお話を楽しんでいる様子でした。他の辛い授業の息抜きにはなりましたが、学んだものは少なかったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
한국어Ⅱ	韓国語Ⅱ
科目設置学部・研究科	Korean Studies in International Studies
履修期間	1 学期間
単位数	6
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	実践(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 150 分が 4 回
担当教授	Kim Minsun / Lee Jihyun
授業内容	韓国語開講。留学生用の韓国語言語初級コース。月曜～木曜の朝 8 時から 11 頃まで毎日 2 コマ。クラス規模 17 人。
試験・課題など	課題は無し。毎週ワークブックやライティングの宿題。 speaking/listening/writing/listening を測る中間試験と期末試験有り。
感想を自由記入	前期より寒い日が多かったため、朝起きるのがもっと辛かった。前期よりも使う文法が増えたために少し難しくなったが、今学期で一気に喋れることが多くなった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Intoroduction to Asian Art History	アジア芸術の歴史入門
科目設置学部・研究科	History of Art
履修期間	1 学期間
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Youn-mi Kim
授業内容	英語開講。クラス規模約 30 人。仏教などの宗教と絵画や彫刻の関係性や、アートから時代背景を読む。
試験・課題など	中間試験、期末試験有り。 美術館訪問し、エッセイ提出2回。
感想を自由記入	生徒想いの非常に優しい教授。授業中に気軽に質問できる雰囲気を作ってくれた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Korean Heritage	韓国の文化歴史
科目設置学部・研究科	Division of International Studies / Korean Studies
履修期間	1学期間
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Sang-ho Ro
授業内容	英語開講。韓国のファッション、食べ物、民族、宗教など様々な文化の歴史などを学ぶ。
試験・課題など	中間試験と期末試験有り。 課題は、民族誌のエッセイが2つ。
感想を自由記入	韓国文化について全般的に学ぶのに丁度良い授業だと思う。教授が生徒想いで非常に優しい。また、教授は日本語も堪能で、韓国の文化比較にジブリ作品や日本の文化が使われるため、日本について学ぶこともできてとても良い授業だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Animal Behavior	動物行動学
科目設置学部・研究科	Life Sciences
履修期間	1学期間
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	オンライン講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Yikweon Jang
授業内容	英語開講。動物の生態系について、科学的に学ぶ。前半は数字などはあまり出てこないが、後半からは、前半よりも少し難しくなる。
試験・課題など	中間試験と期末試験がある。初回のオリエンテーションと、試験は教室で行う。
感想を自由記入	先生の英語の喋り方にとても癖があり、聞いているのが苦痛。授業時間は通常の出席する授業と変わらないが、動画を止めながら聞くことが多いため、より時間がかかった。動物に興味が無い人が軽い気持ちで取ると少し難しいかもしれない。



留学に関するタイムチャート
---------------

2016年 1月～3月	
4月～7月	4月末に交換留学を志し、掛け持ちしていたアルバイトを一つ辞め、TOEFLの勉強を開始する。韓国へ留学先を決定し、学内選考へ応募。
8月～9月	9月末に二次選考の面接試験。
10月～12月	留学先大学に応募書類などを提出。
2017年 1月～3月	韓国に行く直前に3日間程、ハングルの読み方を勉強。 2月末に出発し、3月1日から1学期授業開始。
4月～7月	4月に中間試験。 釜山へ旅行。 6月末に期末試験。 6月18日に日本に一時帰国。
8月～9月	8月29日に韓国へ帰国。 9月1日から2学期授業開始。 추석のため2週間近くの休暇中に、済州島へ旅行。
10月～12月	10月に中間試験。 12月に期末試験。
2018年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

## 留学体験記

留学しようと決めた理由	日本という生まれ育った国を離れて、新しい環境と人々に囲まれながら、様々な経験を通して自分を成長させたいと思ったからです。また、留学は小学生の頃からの夢だったので、ずっと叶えたいと思っていました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	ハンゲルの読み方だけ日本で少し読めるようになってから出発しました。語学力、教養、開放的な性格など、準備しておいたほうがいいものはきりがありません。しかしそうは言っても、留学するまでやはり本気で取り組むのは難しく、来てから気づくことが多いと思うので、ただ、日本で食べたいものを食べて、したい事をして、会いたい人に会うのが一番だと思います。
この留学先を選んだ理由	一年間留学したかったため、その時応募期間が迫っていた、春出発の交換留学に決め、スコアや予算の問題で、韓国を選びました。韓国の中でも梨花女子大学を選んだ理由は、元々この大学を知っていたことと、一番留学生の数が多かったこと、そしてソウルの中心に位置し、生活するのに便利だと思ったからです。
大学・学生の雰囲気	韓国人の学生は、朝から夜まで一生懸命勉強しています。試験前になると図書館に泊まり込む生徒も多く、帰国子女や特別高校に通っていた学生も多く、半数以上の学生は英語やその他の言語が流暢で、留学生数も非常に多いため、英語や、中国語、タイ語など、いろんな言語がキャンパス内どこにいても聞こえます。キャンパスは都市に位置しているにもかかわらず、自然豊かで四季が感じられます。
寮の雰囲気	基本的に二人部屋になっており、ルームメートとはとても親しくなれますし、他の留学生の友達も作りやすい環境であると思います。キャンパス内に寄宿舎があるため、授業へも10分程度で教室に行くことができます。反対にルームメートと良い関係が築けないと共同生活は辛いと思います。
交友関係	一学期目は、韓国語のクラスで非常に仲良くなれたのと、友達のつながりでたくさん友達を作ることができました。二学期は、また新しく交友関係を築きあげなければいけなかったため、目の合った人には、一言でも二言でも話しかける。連絡先を交換した人には必ずすぐにテキストして、一緒にランチかディナーする。この流れで、友達に頼ることなく自分で関係を作っていくことができました。交換留学生だけでなく、韓国人の学生や正規留学生とも、授業内で積極的に話しかけるようにしたところ、仲の良い友達をたくさん作ることができました。学期休みには、友達の何人かが日本に旅行しに来たため、彼らの観光案内をして、一緒に楽しい時間を過ごしてもらうことができました。
困ったこと、大変だったこと	韓国語に関しては、春学期までは、文字は読めても、単語の意味があまりわからなかったため、街中を歩いても、何のお店かすらもわからないような状況が多かったため、慣れないことがまだ多くありました。秋学期には、新しいルームメートであるシンガポール人と、文化や習慣の違いで問題があり、私のストレスが溜まり不眠症になってしまいました。直接対話し理解しようと努めましたが、それも難しく、オフィスを何度も訪れて相談したり、友達に私と同じようにルームメートを探している人がいるか聞いたりし、最終的に新しいルームメートを見つけ、私が部屋を移ることで、その子との生活を終わらせることができましたが、その二か月間は非常に辛かったです。
学習内容・勉強について	韓国語の授業は、月曜から木曜まで、朝から三時間程度も、スピーキングも交えながら勉強するのはとても大変でした。ですがその分、最初の挨拶しかできなかった頃と比べると7か月間の授業で非常に伸びました。英語で行われる授業に関しては、とりわけディスカッションやディベートなどがあるアクティブな授業では、先生の話は理解できても、他の生徒たちの話すスピードや、聞き取れない単語や発音を理解するのに必死で、内容がほとんど入ってこないことは日常茶飯事でした。そんな生徒に圧倒されてさらに緊張、不安になり頭の中が真っ白になるという悪循環がよく起こっていました。そこでどんどん自信を無くす自分に、自信をつけるために、英語を話し練習する機会を設けることで、徐々に自信を取り戻し、授業内でも自分の意見を言えるようになりました。

課題・試験について	韓国語以外の授業では、レポートやプレゼンテーションがたくさんあり、課題を多くこなさなくてはいけない時期は特に大変でしたが、睡眠時間を削りたくなかったので、残された時間内で、やらなくてはいけないことに優先順位をつけて、勉強するようにしていました。
大学外の活動について	偶然知り合った本の出版社の方が主催している英会話教室に参加して、時々韓国語で英語を学んだり、キムチ作りや、テコンドー体験などの、韓国でしかできない経験を多くすることができました。
留学を志す人へ	少しでも留学に興味があるのなら、もしくは留学がずっと夢だったのならなおさら、どんな理由でもいいので、ぜひ諦めないで欲しいと思います。思い描いていたものと違ったり、辛いこともたくさんあるかもしれませんが、ですがそういった経験を通して、海外で勉強し、暮らして気づいたことは、必ず自分の強みになります。 何より、留学しなくて後悔している人はいますが、留学したことを後悔している人を聞いたことがありません。

## 一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	韓国語	韓国語	韓国語	韓国語	洗濯・掃除	終日外出	終日外出
	韓国語	韓国語	韓国語	韓国語	自習	(美術館、カフェなど)	(美術館、カフェなど)
午後	自習	自習	自習	授業	カフェで自習		
	授業	授業	授業	授業			
夕刻	授業	授業	授業	韓国語クラブ	外出		
夜	自習	自習	自習	自習			

